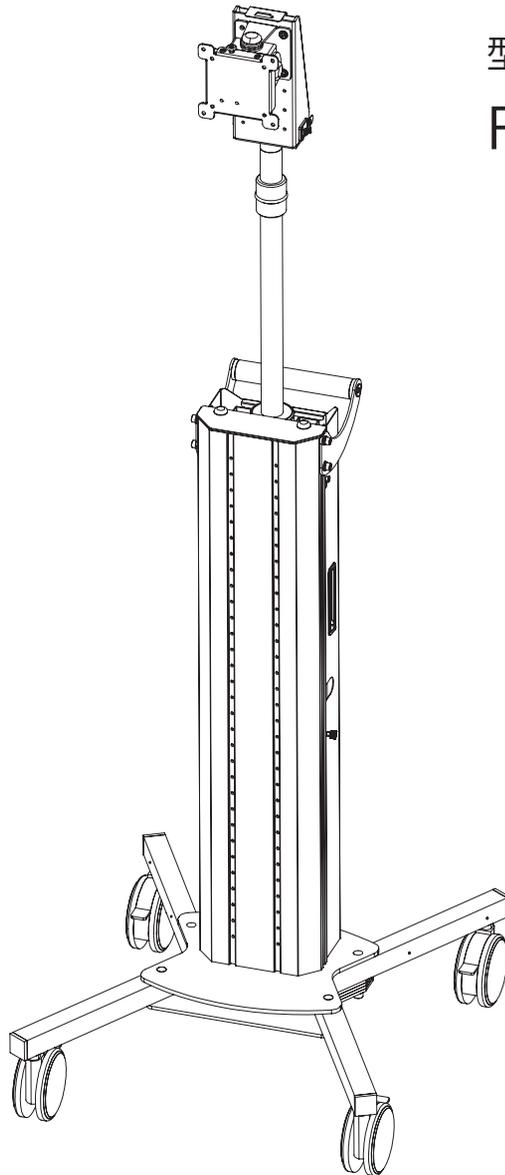


取扱説明書

昇降式モニタースタンド2

型番

FFP-HPV1600-32A2



ご購入いただき、まことにありがとうございました。

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。
- 特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
- お読みになった後は、いつでも取り出せる場所に大切に保管してください。

目次

- 安全上のご注意 1-2
- 製品概要 3
- 梱包内容 3-4
- 「キャスター」のロックについて 5
- ジョイントアームの「ワンタッチリリース」を取り外す 5
- ジョイントアームの「ワンタッチリリース」をモニターに取り付ける 6
- モニターを「ジョイントアーム側金具」に取り付ける 7
- 「操作グリップ」によるモニターの高さ調節 8
- 「ジョイントアーム」の角度調節 9
- 「ジョイントアーム」のトルク調節 9-10
- 「スタンド」の移動方法について 11
- 「ジョイントアーム」の高さ調節 12
- 配線処理について 13-15
- 「棚板/キーボードトレイ付棚板」の高さ調節 オプション 16-18
- キーボードの設置について オプション 19
- 「棚板/キーボードトレイ付棚板」の搭載機器の設置 オプション 20
- 「バスケット」の高さ調節 オプション 21
- 「底板」の位置変更・搭載機器の設置 オプション 22-23

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次の表示で区分しています。

 警告 この表示の欄は「死亡または重症を負うことが想定される危害の程度」です。	 注意 この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。
---	---

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 この絵表示は、絶対にしてはいけない「禁止」内容です。	 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。	 この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。
 この絵表示は、指に気をつけていただきたい「注意」内容です。	

警告

-  本製品は耐荷重を定めております。表記の耐荷重を超えた質量のモニターを取り付けると本製品の転倒やモニターの落下などによる破損・けがの原因となります。
-  本製品の改造・変更は行わないでください。本製品やモニターの落下などによる破損・けがの原因となります。
-  モニターの設置後は、メンテナンス時以外にネジをゆるめたり、はずしたりしないでください。本製品の転倒やモニターの落下などによる破損・けがの原因となります。
-  モニターの本製品への取り付け・取り外しする際は、必ず2人以上で作業を行ってください。指示人数未満での作業は、モニターの落下などによる破損・けがの原因となります。
-  モニターは7~15kg以内のものをご使用ください。規定外の重量を使用すると、スタンド昇降時に過度な負荷がかかり、本製品の転倒やモニターの落下などによる破損・けがの原因となります。
-  壊れた部品を使用しないでください。本製品の転倒やモニターの落下などによる破損・けがの原因となります。万一、部品が壊れた場合には販売店にご相談ください。
-  やわらかい床面や傾いたところなど不安定な場所に設置しないでください。本製品の転倒による破損・けがの原因となります。
-  使用中にジョイント部やネジのゆるみ、がたつきが生じた場合は、必ず締め直し、直らない場合は使用を中止してください。ゆるみやがたつきがあるまま使用すると本製品の転倒やモニターの落下などによる破損・けがの原因となります。

注意

-  棚板に機器を設置する場合は、棚板から大きくはみ出したサイズのものやはみ出した位置には設置しないでください。製品や設置された機器の落下などによる破損・けがの原因となります。
-  安全確保のため、ボルトやネジ類は所定の場所に確実に締め付けてください。
-  本製品を移動する際は、棚板や底板に設置された機器が落下しないよう慎重に移動させてください。
-  移動時以外は、キャスターをロックしてください。何らかの衝撃や地震などの揺れで、本製品が自走して本製品や機器の破損・けがの原因となります。
-  アーム各関節部のトルク調節は、必ず取扱説明書の手順に従って行ってください。

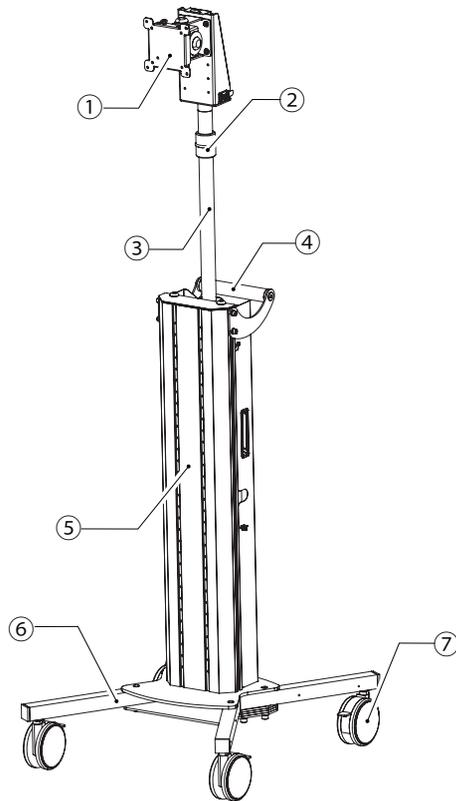
本製品は生産より出荷に至るまで厳重に検査しておりますが、万一製品に破損またはご使用に支障をきたす場合は、まことに恐れ入りますが購入先または下記宛先までお問合せください。

日本フォームサービス株式会社

電話：03-3636-0011(代表) ホームページ：<https://www.forvice.co.jp> メール：marketing@forvice.co.jp

製品概要

昇降式モニタースタンド2



No.	名称
①	高荷重ジョイントアーム
②	操作グリップ
③	ポール
④	ハンドル
⑤	支柱(アルミレール)
⑥	レッグ
⑦	キャスター(ストッパー付)

型番	FFP-HPV1600-32A2
質量	約31.0kg
耐荷重	7~15kg ※ 重量が7~15kg内のモニターをご使用ください。

梱包内容

部品・付属品		高荷重ジョイントアーム (HPV-30W-18RO)用付属品	
<p>昇降式モニタースタンド2...1台</p>	<p>取扱説明書...1部</p>	<p>バインド小ネジ (M4×12)...4本</p>	<p>スパナ(対辺13mm) ...1本</p>
		<p>六角レンチ(対辺5mm) ...1本</p>	

オプション品

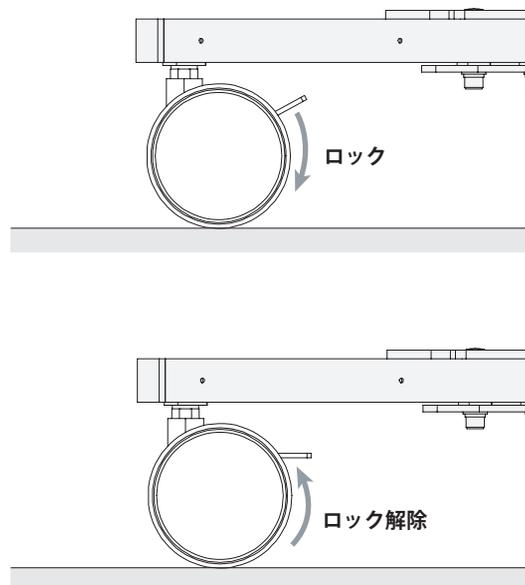
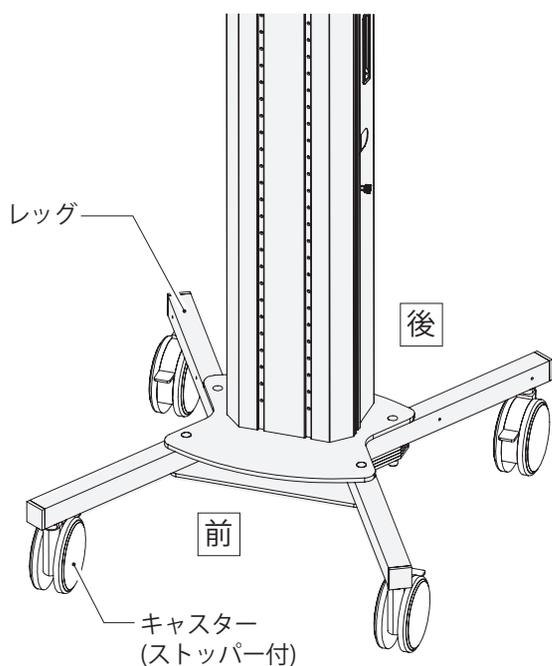
<div style="text-align: center;">取付イメージ</div> <p>棚板…1個</p> <p>マジックバンド…2セット (機器固定用)</p>		<div style="text-align: center;">取付イメージ</div> <p>キーボードトレイ付棚板…1個</p> <p>マジックバンド…2セット (機器固定用)</p>	
型番	FFP-HPV-TR	型番	FFP-HPV-KT
質量	約2.0kg	質量	約6.0kg
耐荷重	10kg	耐荷重	棚板部：10kg トレイ部：1kg
<div style="text-align: center;">取付イメージ</div> <p>底板…1個</p> <p>マジックバンド…2セット (機器固定用)</p> <p style="text-align: right;">※背面側からみた図</p>		<div style="text-align: center;">取付イメージ</div> <p>バスケット…1個</p>	
型番	FFP-HPV-BS	型番	FFP-HPV-BK
質量	約1.6kg	質量	約0.8kg
耐荷重	10kg	耐荷重	2kg

※六角レンチ以外の工具は付属しておりませんので、お客様や設置する方でのご用意となります。

※オプション品は取り付けを行った状態で納品しております。別途で購入された際にはお客様自身で取り付けを行う形となります。

「キャスター」のロックについて

「レッグ」の「キャスター」全てにストッパーが付いています。モニターを取り付けや設置、高さ調節を行う前に「キャスター」のストッパーをロックし、安定した状態で作業を行ってください。



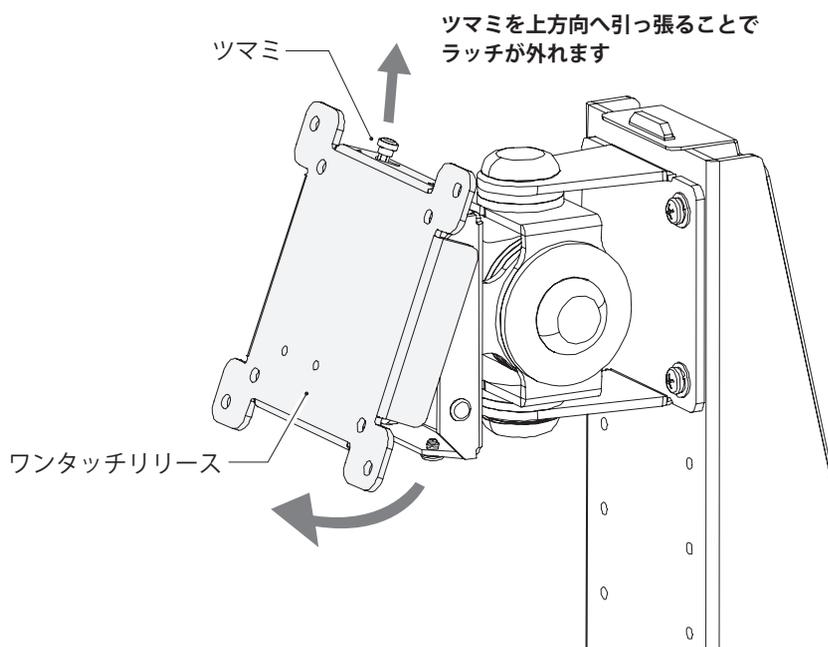
やわらかい床面や傾いたところなど不安定な場所に設置しないでください。本製品の転倒やけがの原因となります。



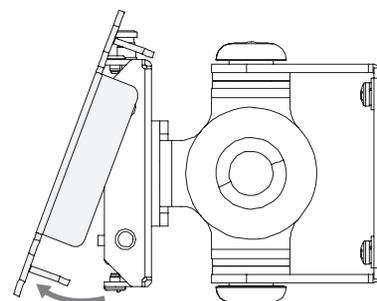
移動時以外は、キャスターをロックしてください。地震などの揺れで、本製品が自走し破損・けがの原因となります。

ジョイントアームの「ワンタッチリリース」を取り外す

ジョイントアームの「ワンタッチリリース」のつまみを上方へ引っ張りながら、モニター側金具を取り外してください。



横から見た図

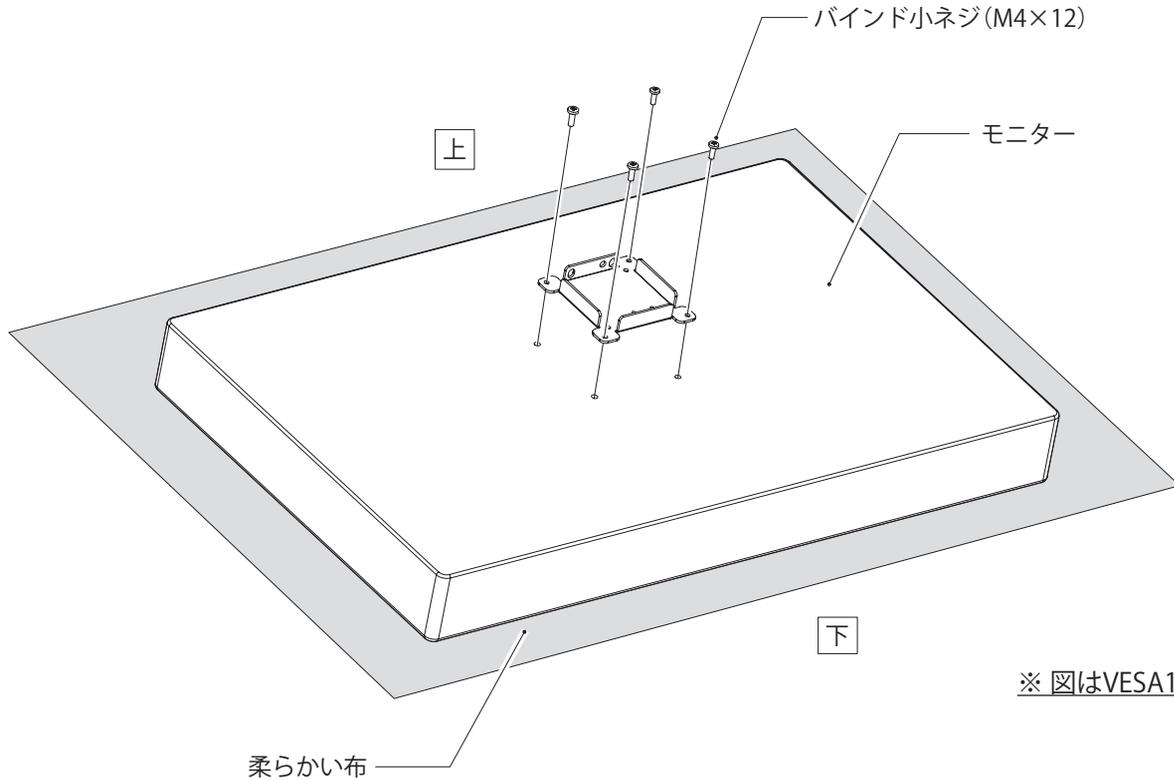


ジョイントアームの「ワンタッチリリース」をモニターに取り付ける

1. モニターは画面を下にした状態で柔らかい布などを敷いた平面に寝かせます。
2. 取り外した「ワンタッチリリース」を付属の「バインド小ネジ (M4×12)」でモニターに取り付けてください。

使用する工具

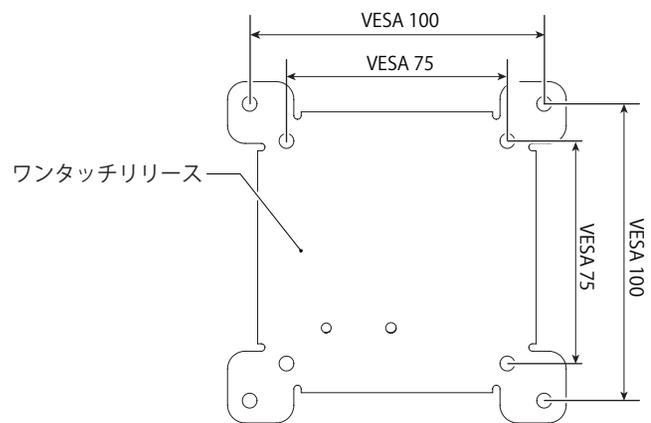
プラスドライバー



※ 図はVESA100×100を想定

ワンタッチリリースの対応VESA

- VESAは75×75mm、100×100mmに対応しています
- お使いのモニターの取付穴を確認し、取り付けてください



ネジは確実に締め付けてください。金具やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。



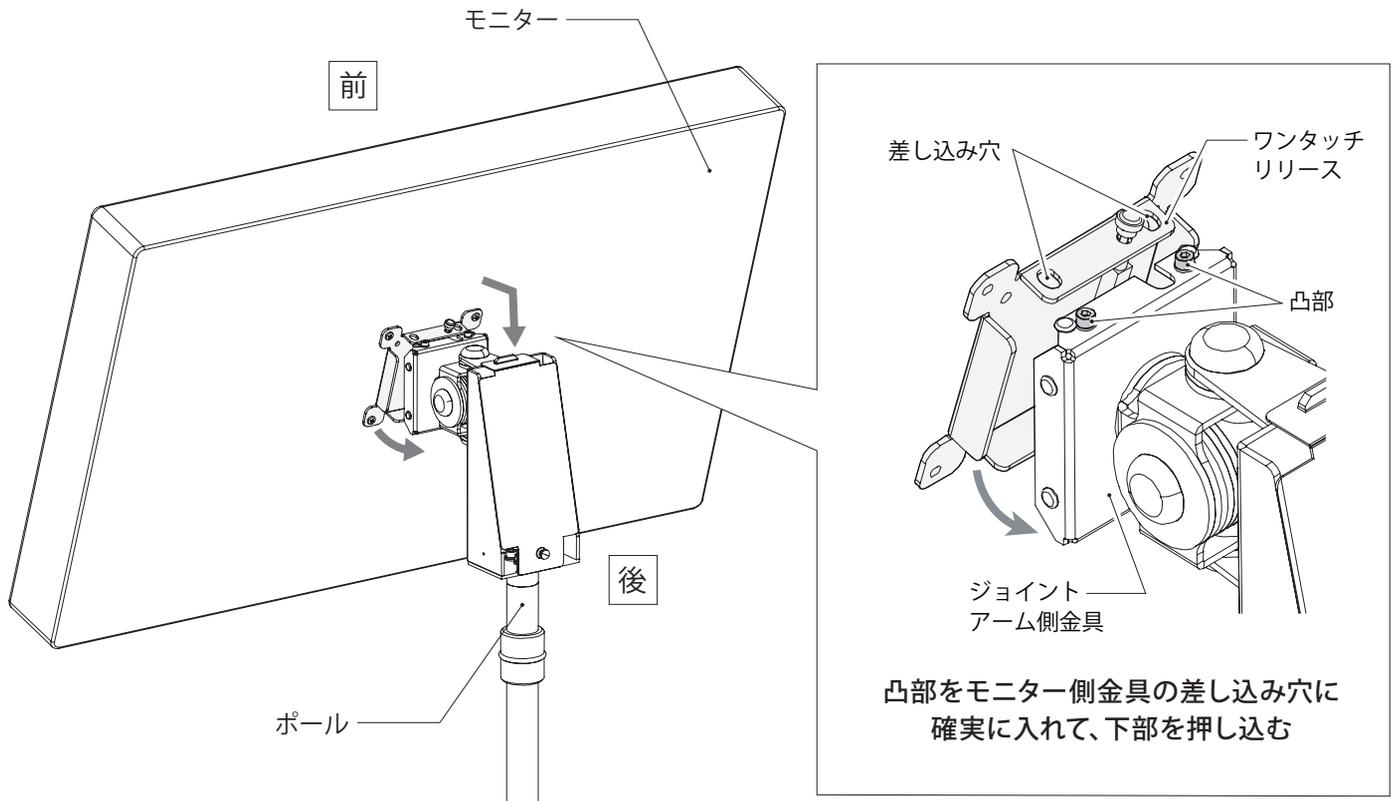
モニターを寝かせる際は、凹凸のない平らな面に柔らかい布などを敷いて、取付を行ってください。画面に支障をきたす原因となります。



取り付けの際は、取付穴の深さをメーカーの取扱説明書やホームページなどで確認の上、深さに合ったネジを選定してください。

モニターを「ジョイントアーム側金具」に取り付ける

モニターに取り付けたジョイントアームの「ワンタッチリリース」を「ジョイントアーム側金具」に上からはめて、押し込みます。



モニターを取り外す場合

モニターを取り外したい場合は5ページ「ジョイントアームのワンタッチリリースを取り外す」と同様、ツマミを引っ張りながら、モニターを持ち上げることで取り外せます。



モニターの本製品への取り付け・取り外しは、必ず2人以上で作業を行ってください。指示人数未満での作業は、モニターの落下・破損などの事故の原因となります。



ワンタッチリリースの下側を音がするまで押し込み、外れることがないように確認してください。



ジョイントアームは360°回転します。モニターの取り付け・取り外しの際はモニターが落下しないよう可動部を押さえつけながら作業を行ってください。

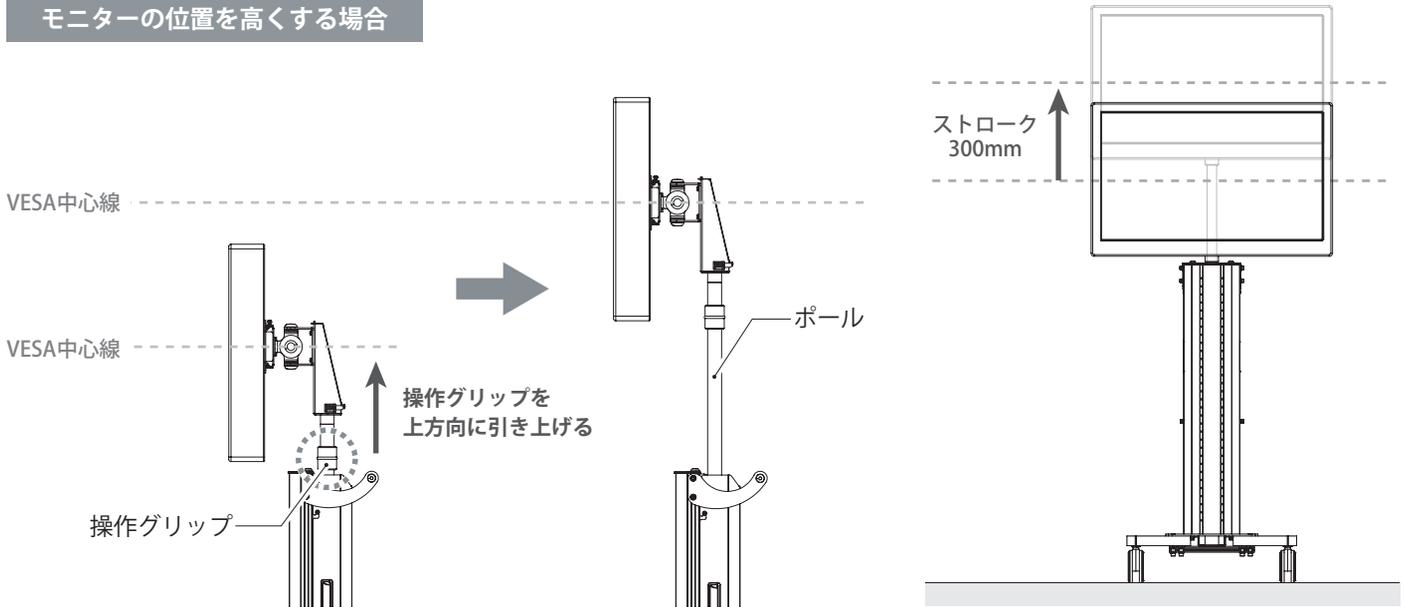
「操作グリップ」によるモニターの高さ調節

ポールの「操作グリップ」を上下させることで、モニターの高さを調節することができます。
「操作グリップ」は手を離れた位置で固定されます。

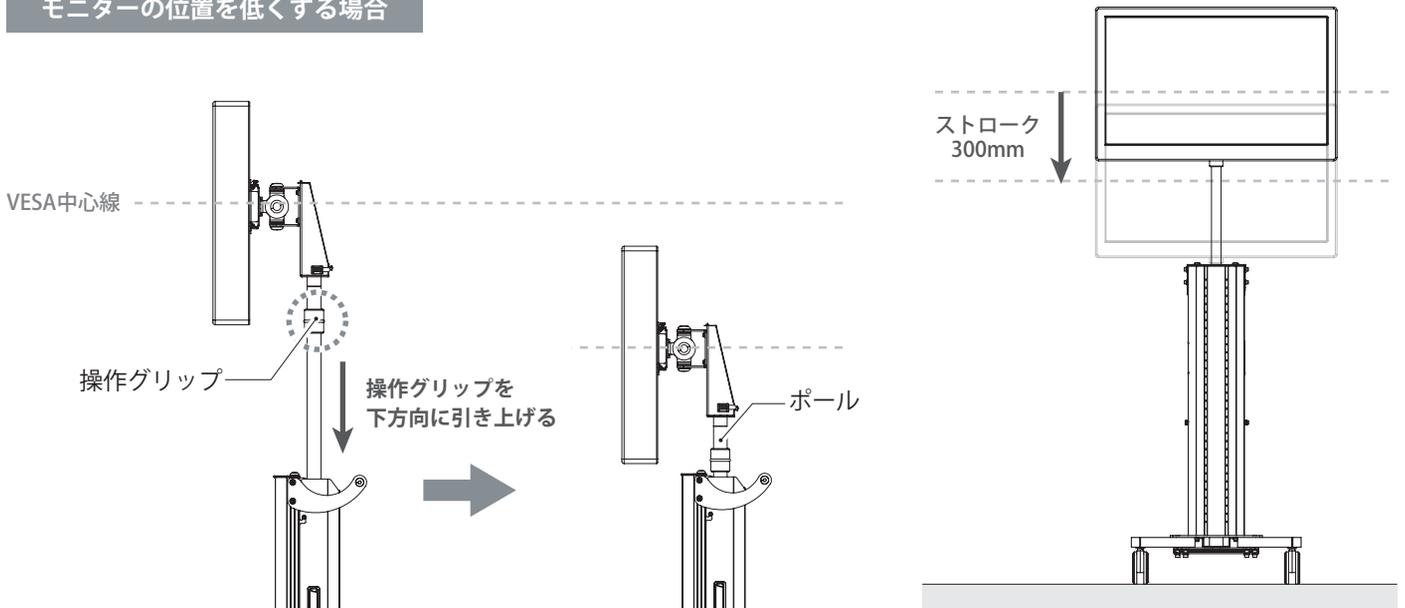
※ポールの可動ストロークは300mmです。

※オプションを設置している場合は16ページ「高さ変更を行う前の確認事項」をご参照のうえ、高さ調節を行ってください。

モニターの高くする場合



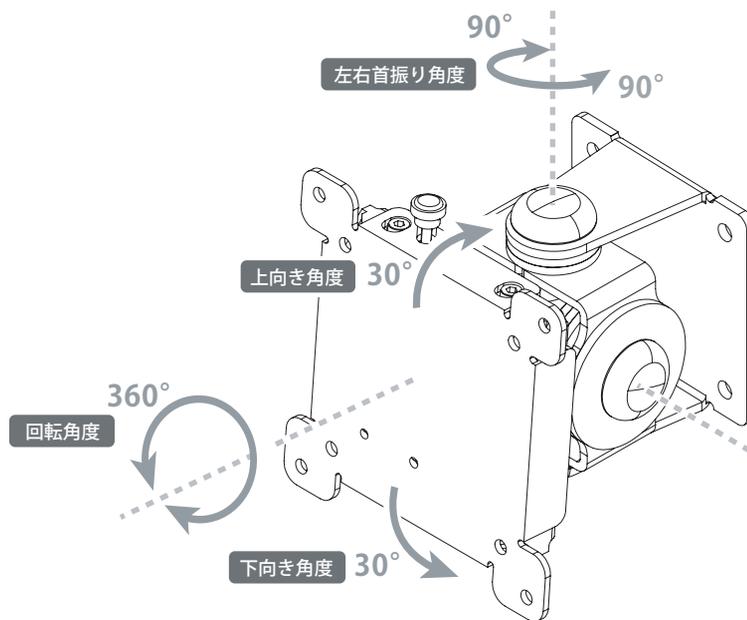
モニターの高くする場合



モニターの高さ調節をする際は、モニターを手でしっかりと保持しながら行ってください。モニターの急激な上昇などによるモニターや本製品の破損・けがの原因となります。

「ジョイントアーム」の角度調節

・ジョイントアームはモニターの回転や上下左右の角度調節を行うことができます。



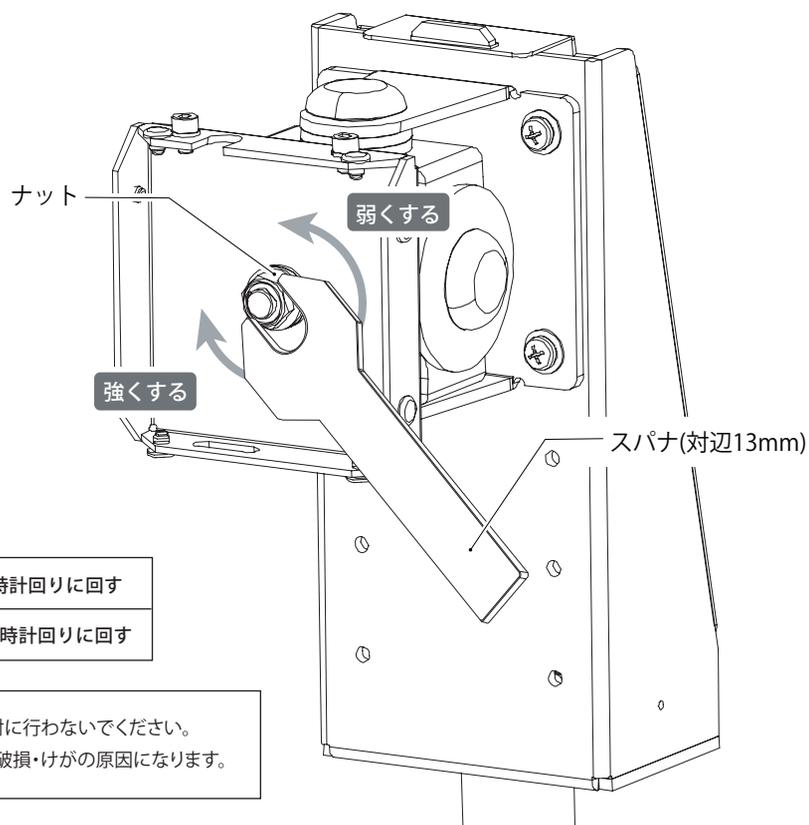
「ジョイントアーム」のトルク調節

回転部の場合

回転部のトルク調節が必要な場合はモニター側金具を取り外し、付属の「スパナ(対辺13mm)」で「ジョイントアーム」のトルク調節を行います。

使用する工具

スパナ (対辺 13mm)



トルクを強くしたい場合	時計回りに回す
トルクを弱くしたい場合	反時計回りに回す



ナットの取り外しは絶対に行わないでください。
モニターの落下による破損・けがの原因になります。

「ジョイントアーム」のトルク調節

つづき

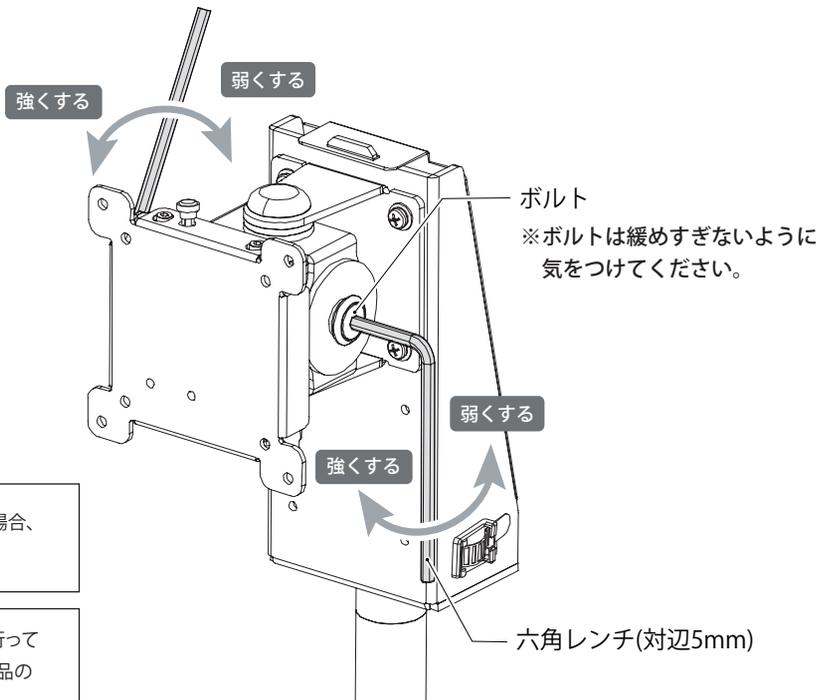
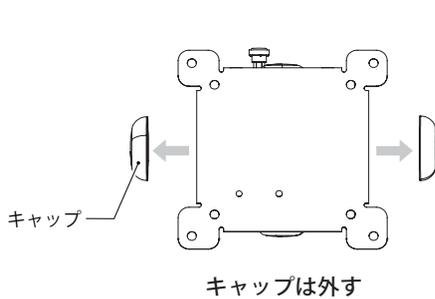
チルト調節の場合

※調節後は、必ず調節部のキャップを付け直してください。

使用する工具

六角レンチ (対辺 5mm)

上下のトルク調節を行う場合は調節部のキャップを外してください。
モニターが垂れ下がる場合は、付属品の六角レンチで調節を行います。



トルクを強くしたい場合	時計回りに回す
トルクを弱くしたい場合	反時計回りに回す



ボルトは、均一に締め付けを行ってください。均一でない場合、モニターの垂れ下がりが起こる可能性があります。

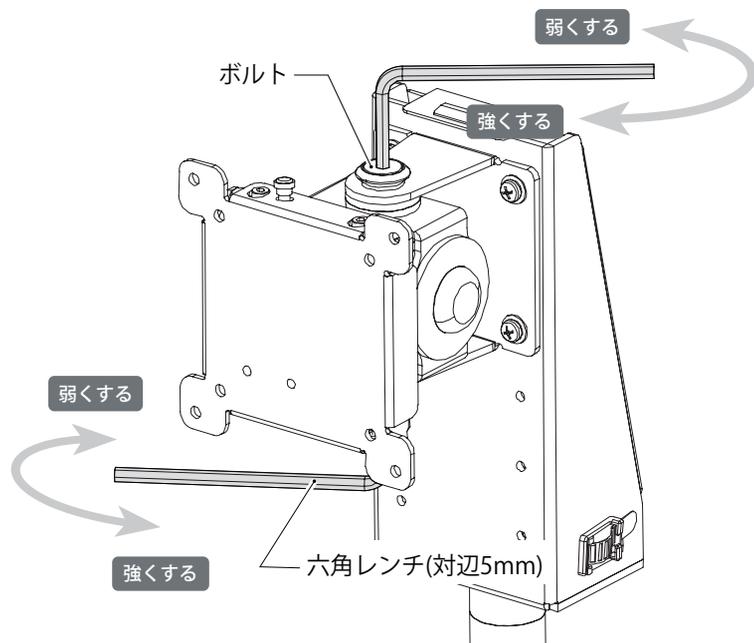
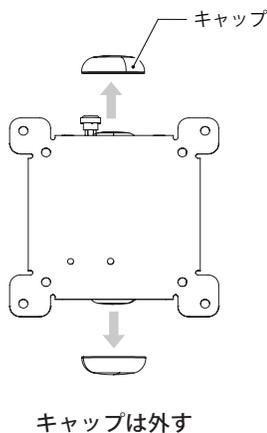


調節を行う際はモニターを手でしっかりと保持しながら行ってください。モニターの急激な落下により、モニターや本製品の破損・けがの原因となります。

左右調節の場合

※調節後は、必ず調節部のキャップを付け直してください。

左右のトルク調節を行う場合は調節部のキャップを外してから、付属品の六角レンチで調節を行います。



トルクを強くしたい場合	時計回りに回す
トルクを弱くしたい場合	反時計回りに回す



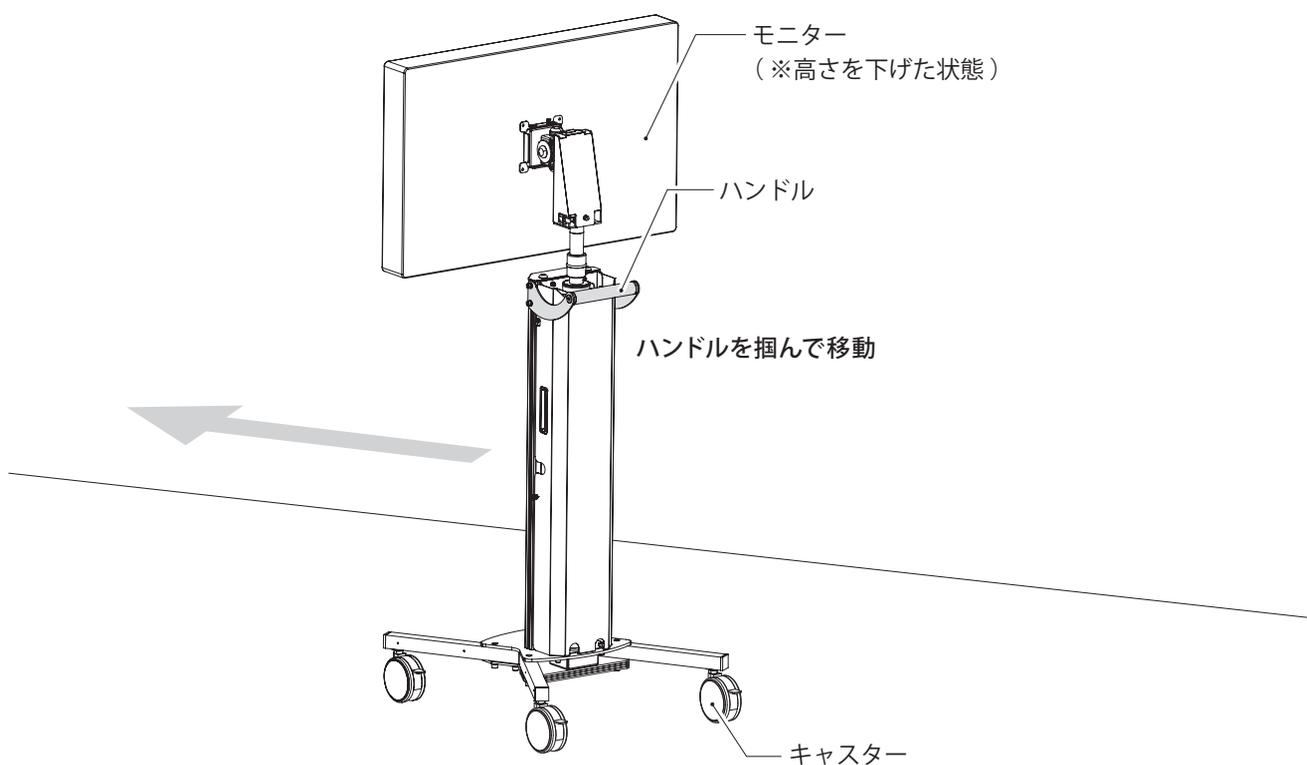
ボルトの取り外しは絶対に行わないでください。モニターの落下による破損・けがの原因となります。



ボルトは、均一に締め付けを行ってください。均一でない場合、モニターの垂れ下がりが起こる可能性があります。

「スタンド」の移動方法について

- ・移動する前に「操作グリップ」でモニターの高さを下げた状態にしてください。
- ・本製品を移動する際は「キャスター」のロックを解除し、「ハンドル」を掴んで移動してください。
- ・設置場所では必ず「キャスター」をロックしてください。



 やわらかい床面や傾いたところなど不安定な場所に設置しないでください。本製品の転倒やけがの原因となります。

 移動時以外は、キャスターをロックしてください。地震などの揺れで、本製品が自走し破損・けがの原因となります。

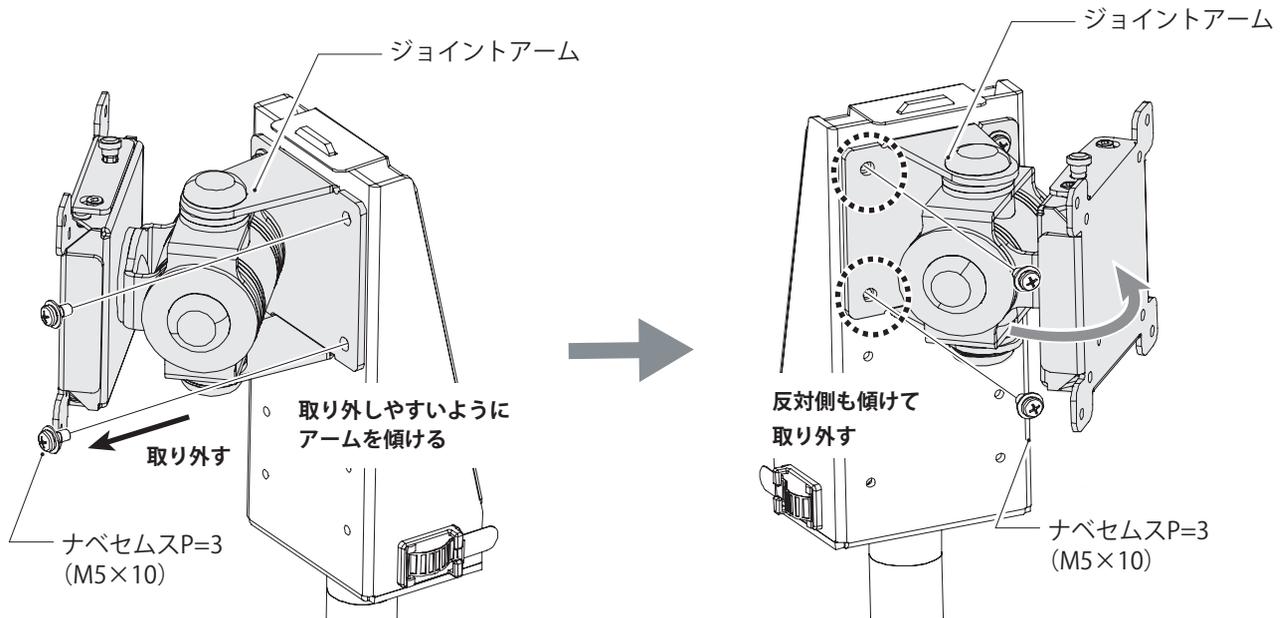
「ジョイントアーム」の高さ調節

・「ジョイントアーム」の取り付け位置を変更する場合は次の手順をご参照ください。

※オプションを設置している場合は16ページ「高さ変更を行う前の確認事項」をご参照のうえ、高さ調節を行ってください。

1. 「アーム受け金具」に取り付けられている「ナベセムスP=3(M5×10)」4本を取り外します。
取り外す際は、「ジョイントアーム」を取り外しやすいように左右に傾けてください。

ジョイントアームの取り外し方



2. 「アーム受け金具」の取り付けたい位置に「ジョイントアーム」を取り外した「ナベセムスP=3(M5×10)」で取り付けてください。

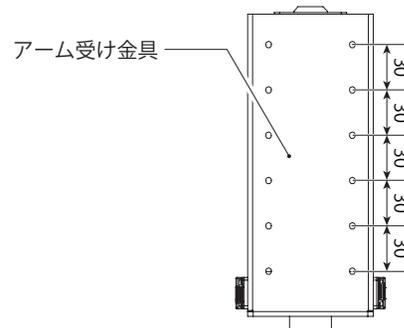
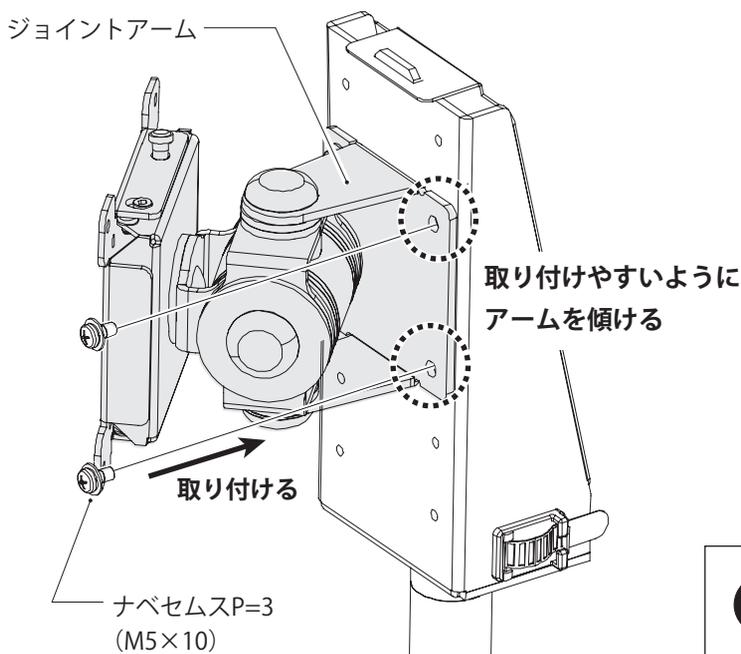
ジョイントアームの取り付け方

※ 取り外す際の逆の手順で取り付けを行ってください。

アームの取付位置について

「ジョイントアーム」の取り付け高さは、30mmピッチで4段階の高さ調節が可能です。

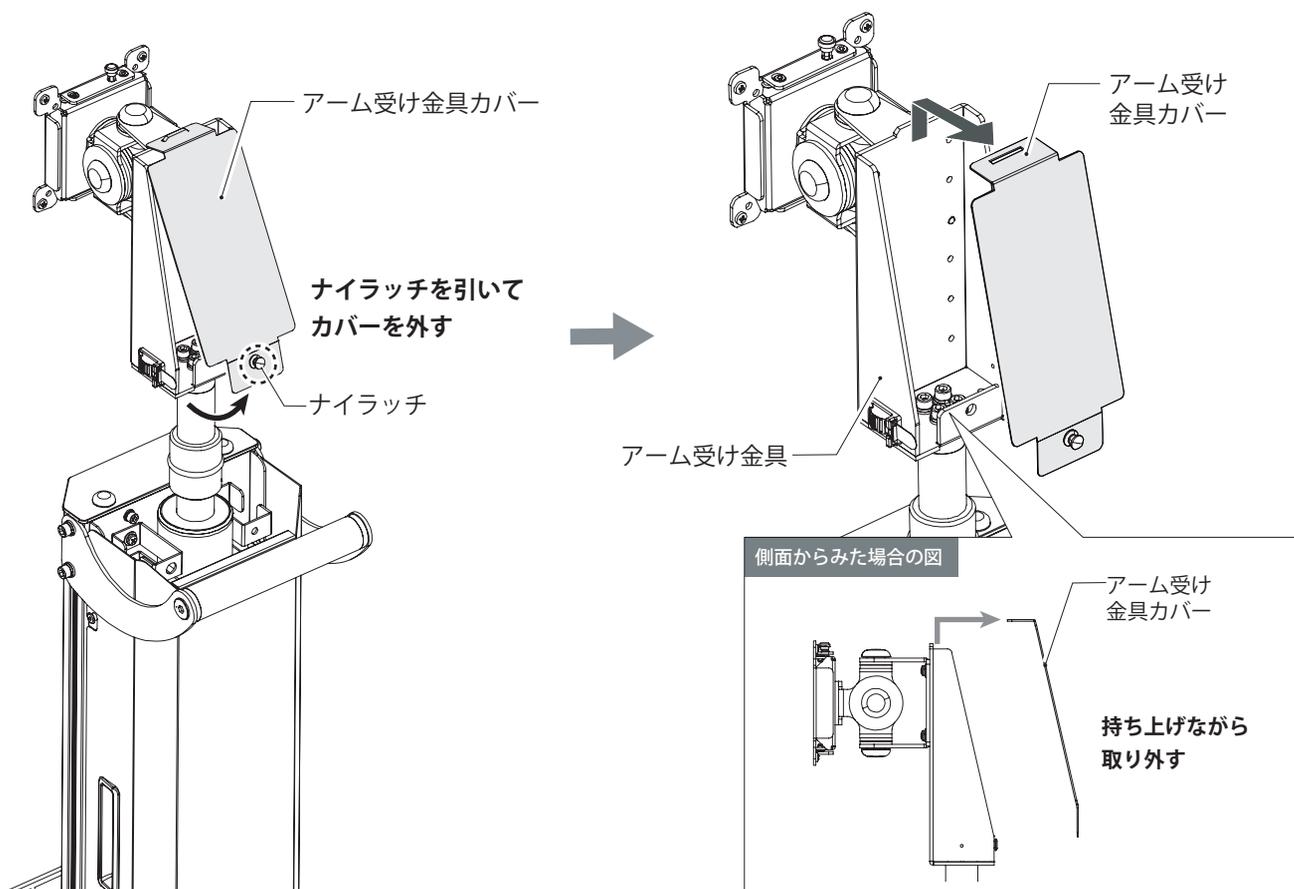
※ 取り付け位置の調節を行う際は必ずモニターを外してから行ってください。



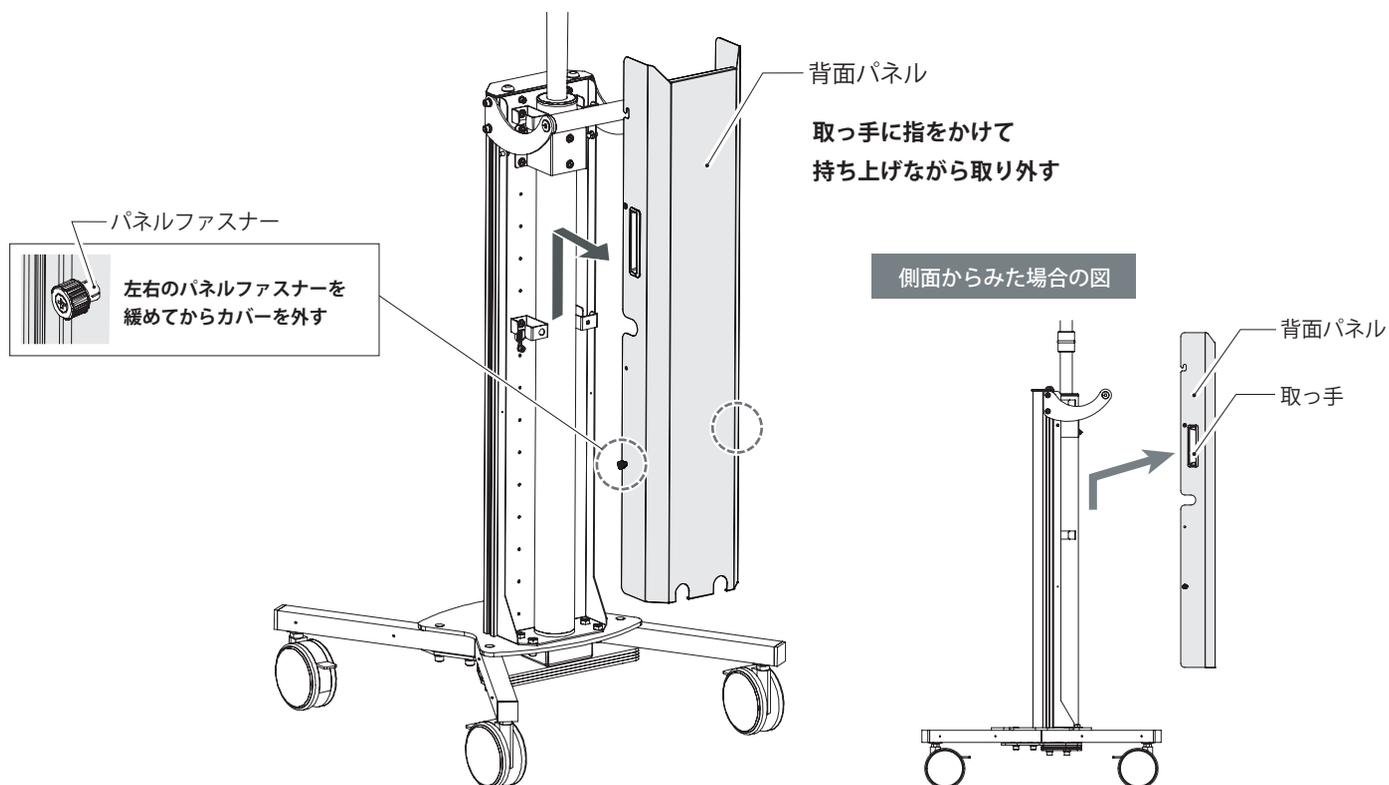
! 確実にネジを締め付けてください。締め付けがゆるいとジョイントアームが落ちて本製品の破損・けがの原因となります。

配線処理について

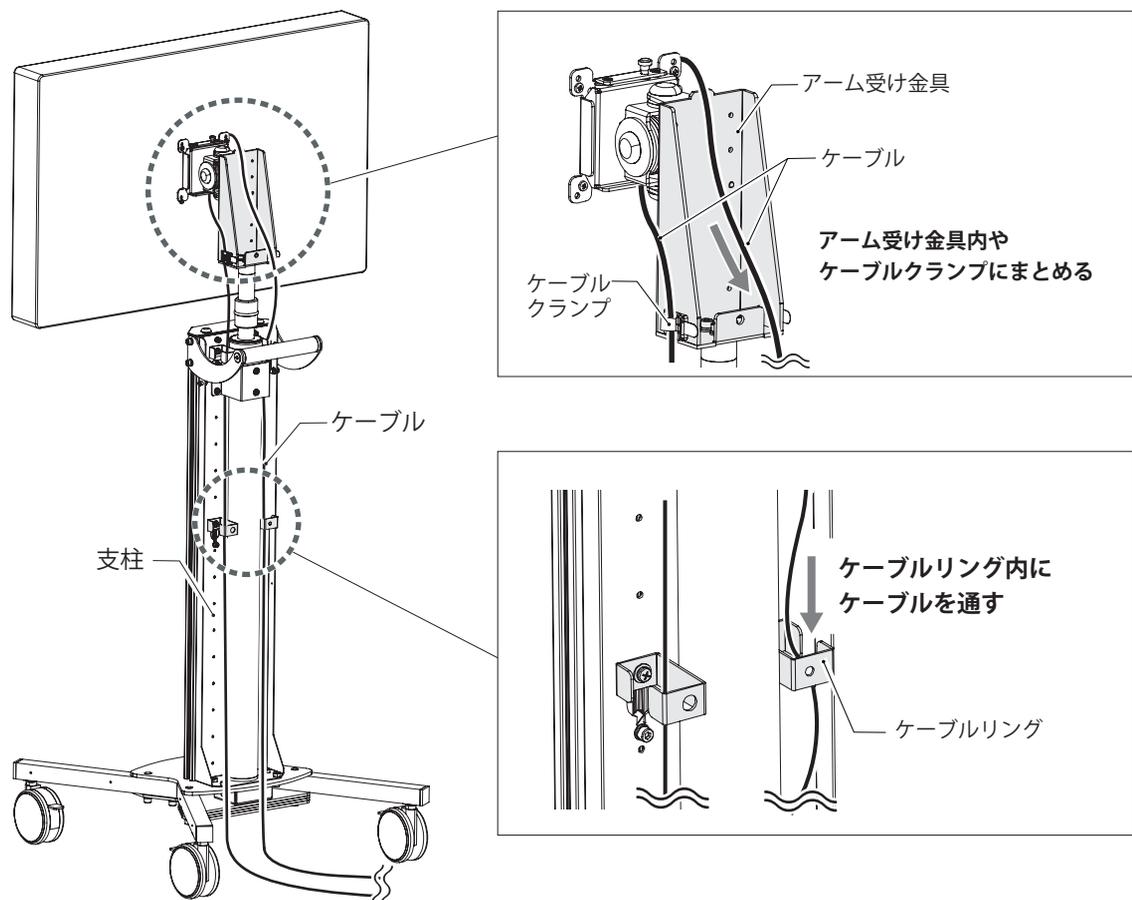
1. 配線処理を行う場合は最初に「アーム受け金具カバー」を取り外します。
取り外す際は、「ナイラッチ」をつまんで引き、「アーム受け金具カバー」を上を持ち上げながら取り外してください。



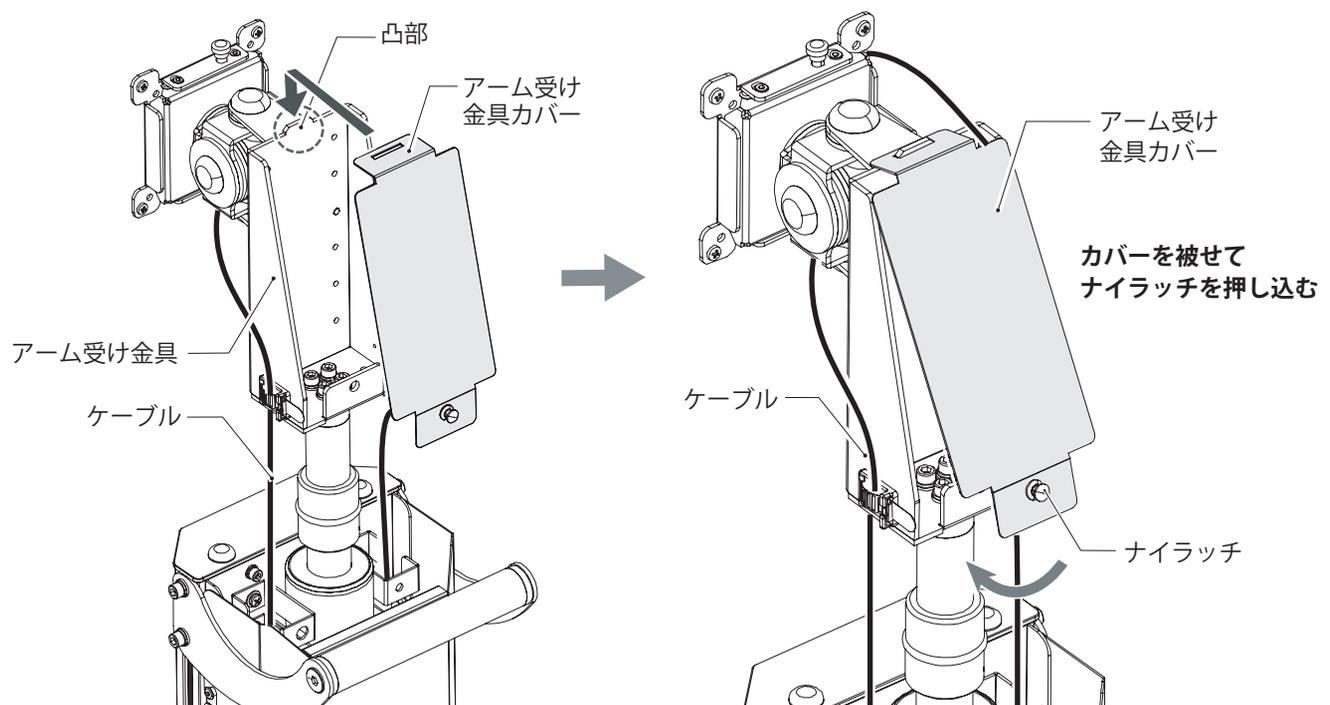
2. 次に支柱に取り付けられた「背面パネル」を取り外します。
「背面パネル」左右側面の「パネルファスナー」を緩め、取っ手に指をかけて、取り外してください。



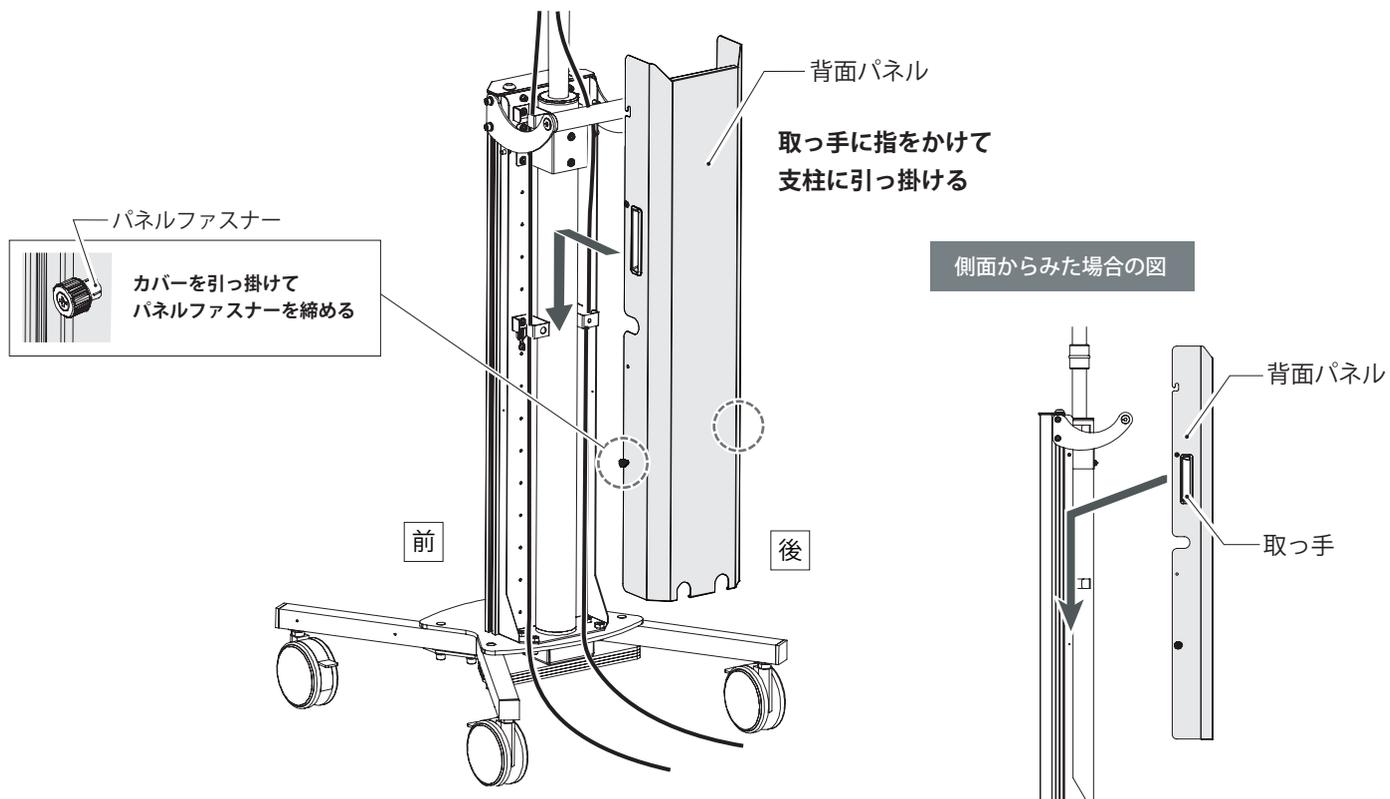
3. モニターケーブルを以下の図を参考に配線してください。
 ケーブルは「支柱」内にある「ケーブルリング」や「ケーブルクランプ」にまとめることができます。



4. ケーブル収納後に「アーム受け金具カバー」を「アーム受け金具」の凸部に引っ掛け、「ナイラッチ」を押し込みます。



5. 次に支柱に「背面パネル」を取り付けます。「背面パネル」の取っ手に指をかけて、引っ掛けるようにして「支柱」に取り付けてください。最後に「背面パネル」左右側面の「パネルファスナー」を締めてください。

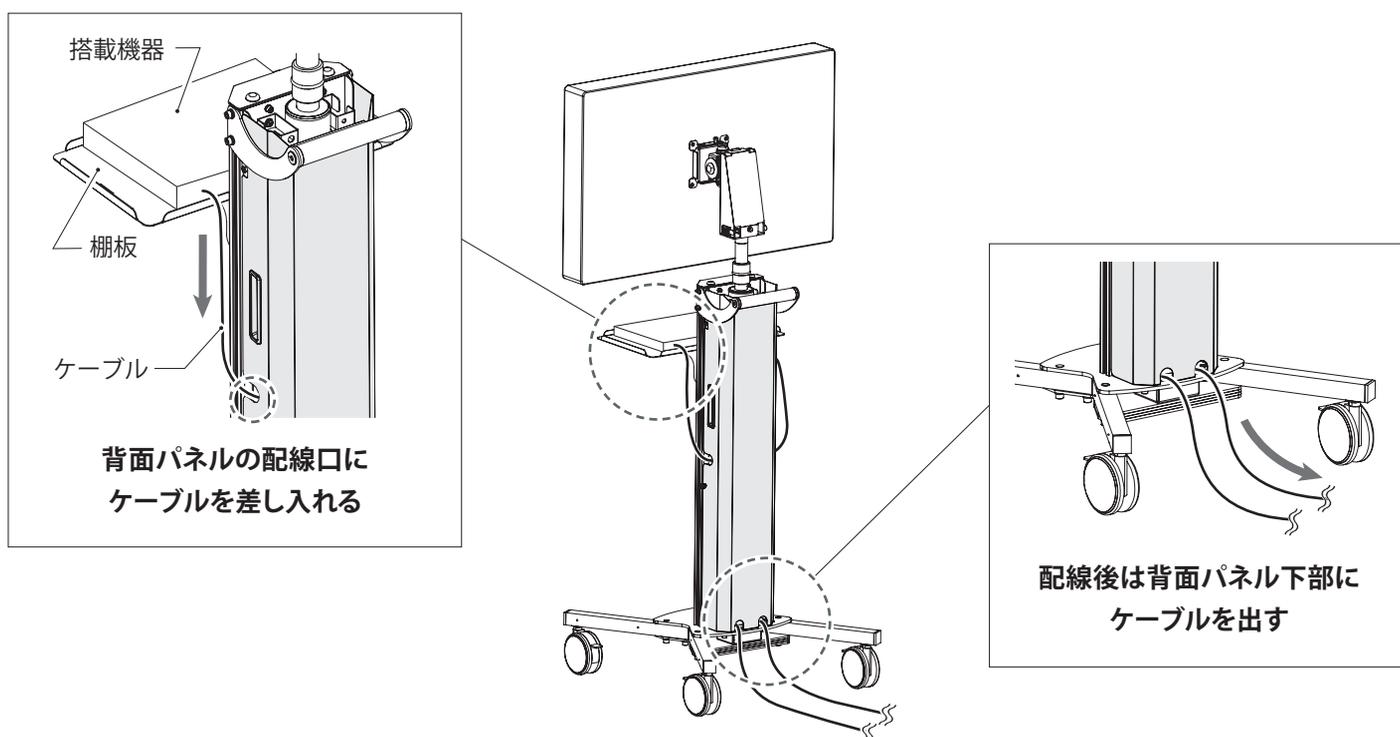


確実にネジを締め付けてください。締め付けがゆるいと背面カバーが落ちて本製品の破損・けがの原因となります。



背面パネルを取り付ける際はケーブルを挟まないように気を付けて、取り付けを行ってください。

棚板(オプション)などを取り付ける場合の配線処理



高さ変更を行う前の確認事項

モニターや搭載機器のサイズ、モニターの高さ位置によって、モニターと「棚板/キーボードトレイ付棚板」が干渉する場合があります。下記を確認のうえ、高さ調節を行ってください。

- ・モニターを下降する際に「棚板/キーボードトレイ付棚板」や棚に設置する搭載機器が干渉しない事を必ず確認してください

※ 干渉する可能性がある場合は、棚板の高さなどを変更し、調節してください。



モニターを下降する場合は、モニターの位置を確認したうえで、棚板等を干渉しない位置に設置してください。本製品やモニターの破損・けがの原因となります。



モニターのサイズや搭載機器のサイズによって、設置可能位置は異なります。

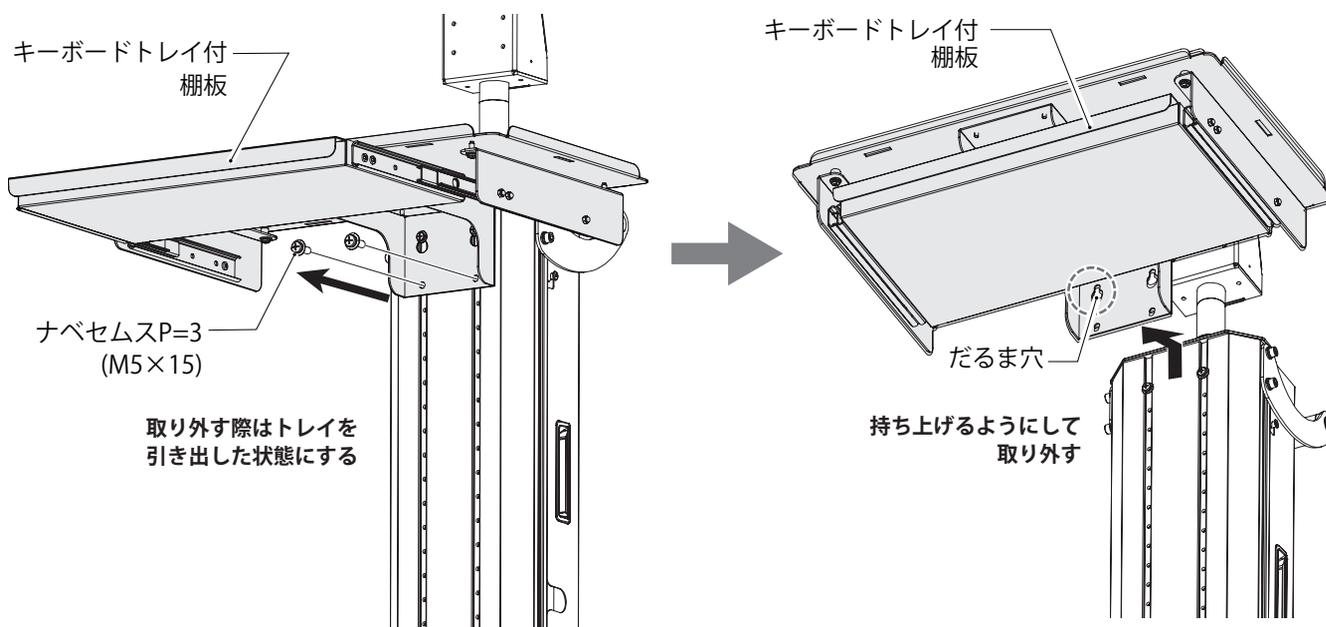
キーボードトレイ付棚板の高さを変更する場合

使用する工具

プラスドライバー

- ・「キーボードトレイ付棚板」の高さを変更する場合は以下の手順をご参照ください。

1. 「支柱」に取り付けられている「キーボードトレイ付棚板」を取り外します。取り外す際はトレイを引き出し、取付穴が見える状態にしてから下部の「ナベセムスP=3(M5×15)」2本を取り外します。
2. 次に上部に取り付けられているネジを緩め、「キーボードトレイ付棚板」を持ち上げるようにして取り外します。「支柱」に残っている上部の「ナベセムスP=3(M5×15)」2本も取り外してください。



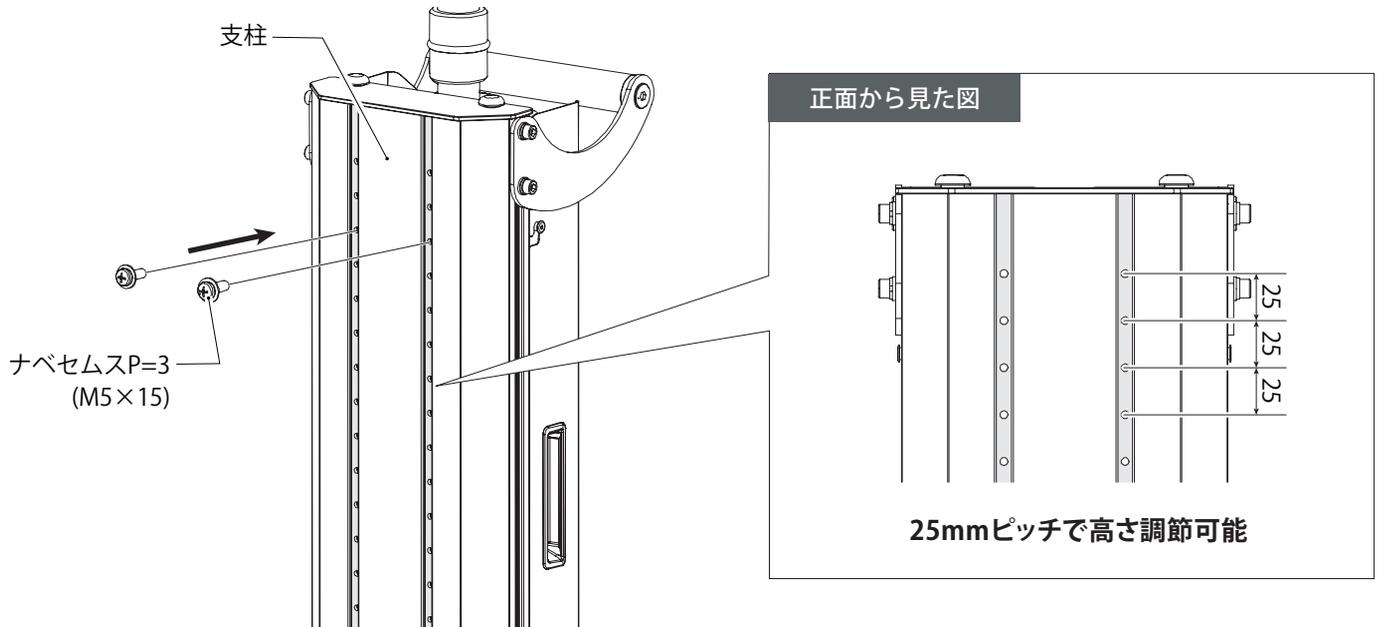
ネジを取り外した後はトレイを収まった状態に戻してから、棚板の取り外しを行ってください。



トレイを引き出して作業を行う際は、頭部をぶつけないよう、十分に気を付けて作業を行ってください。

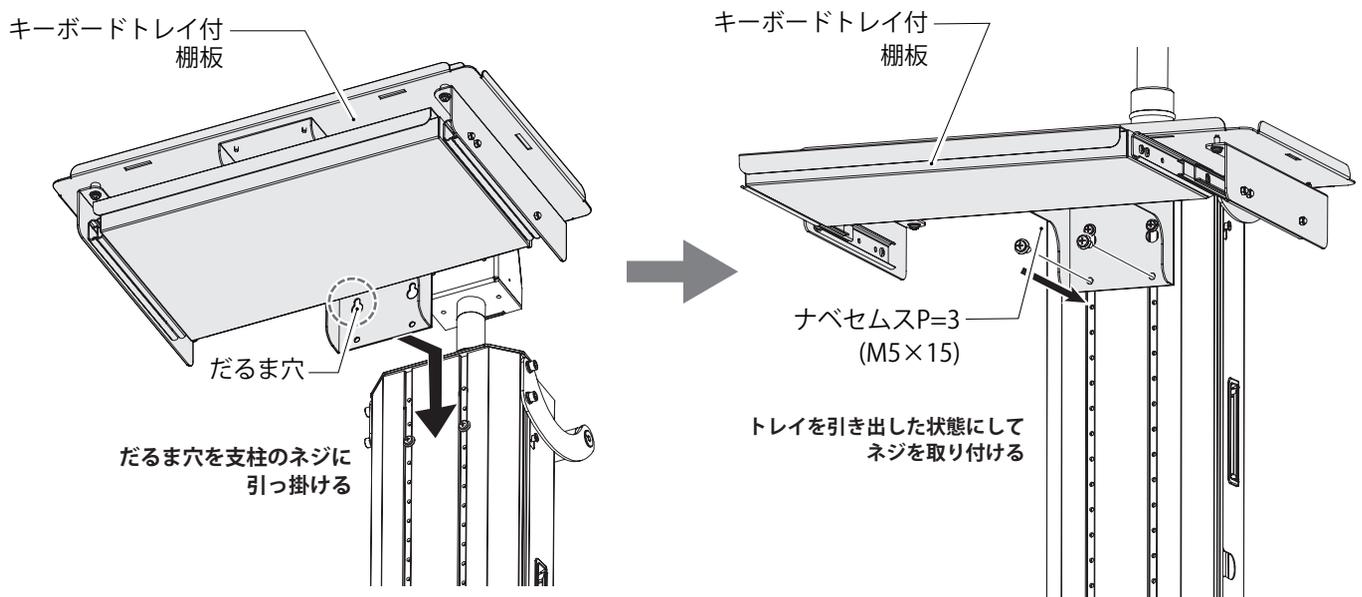
3. 「キーボードトレイ付棚板」の取り付け位置に合わせて、取り外した「ナベセムスP=3 (M5×15)」4本のうち、2本を支柱の正面側に半分程度差し込んでください。

※ 「キーボードトレイ付棚板」の取り付け高さは、「棚板」と同様に25mmピッチで高さ調節が可能です。



4. 取り付けした「ナベセムスP=3(M5×15)」に「キーボードトレイ付棚板」のだるま穴を引っ掛けるようにして取り付けてください。
5. 残りの「ナベセムスP=3(M5×15)」2本を取り付け、最後に4本の「ナベセムスP=3(M5×15)」を本締めし、「キーボードトレイ付棚板」をしっかりと「支柱」に固定してください。

※ ネジを取り付ける際は取り外す際と同様に、トレイを引き出した状態にしてください。



! 確実にネジを締め付けてください。締め付けがゆるいと棚板が落ちて本製品の破損・けがの原因となります。

! トレイを引き出して作業を行う際は、頭部をぶつけないよう、十分に気を付けて作業を行ってください。

棚板の高さを変更する場合

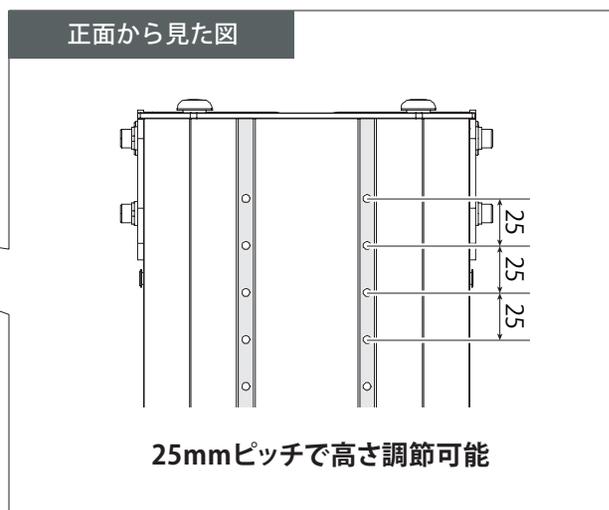
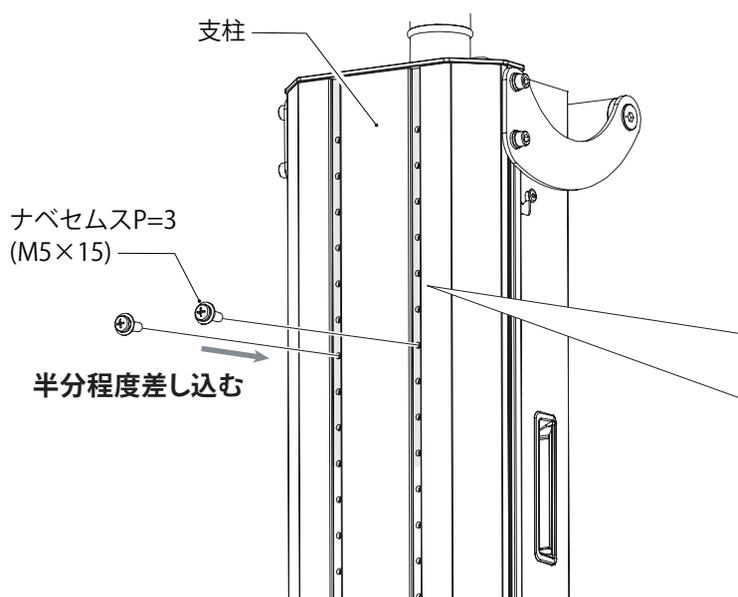
使用する工具

プラスドライバー

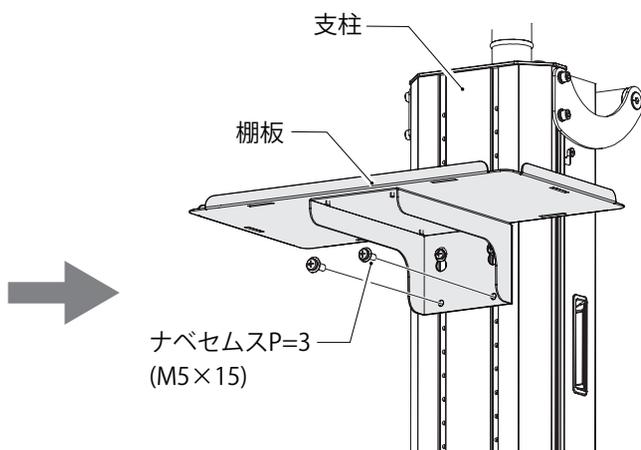
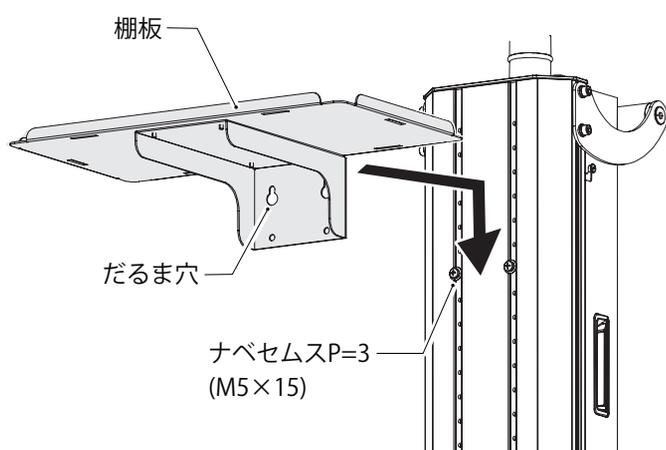
・「棚板」の高さを変更する場合は以下の手順をご参照ください。

1. 「支柱」に取り付けられている「棚板」を取り外します。
2. 「棚板」の取り付け位置に合わせて、取り外した「ナベセムスP=3(M5×15)」4本のうち、2本を支柱の正面側に半分程度差し込みます。

※「棚板」の取り付け高さは、25mmピッチで高さ調節が可能です。



3. 取り付けした「ナベセムスP=3(M5×15)」に「棚板」のだるま穴を引っ掛けるようにして取り付けてください。
4. 残りの「ナベセムスP=3(M5×15)」2本を取り付け、最後に4本の「ナベセムスP=3(M5×15)」を本締めします。

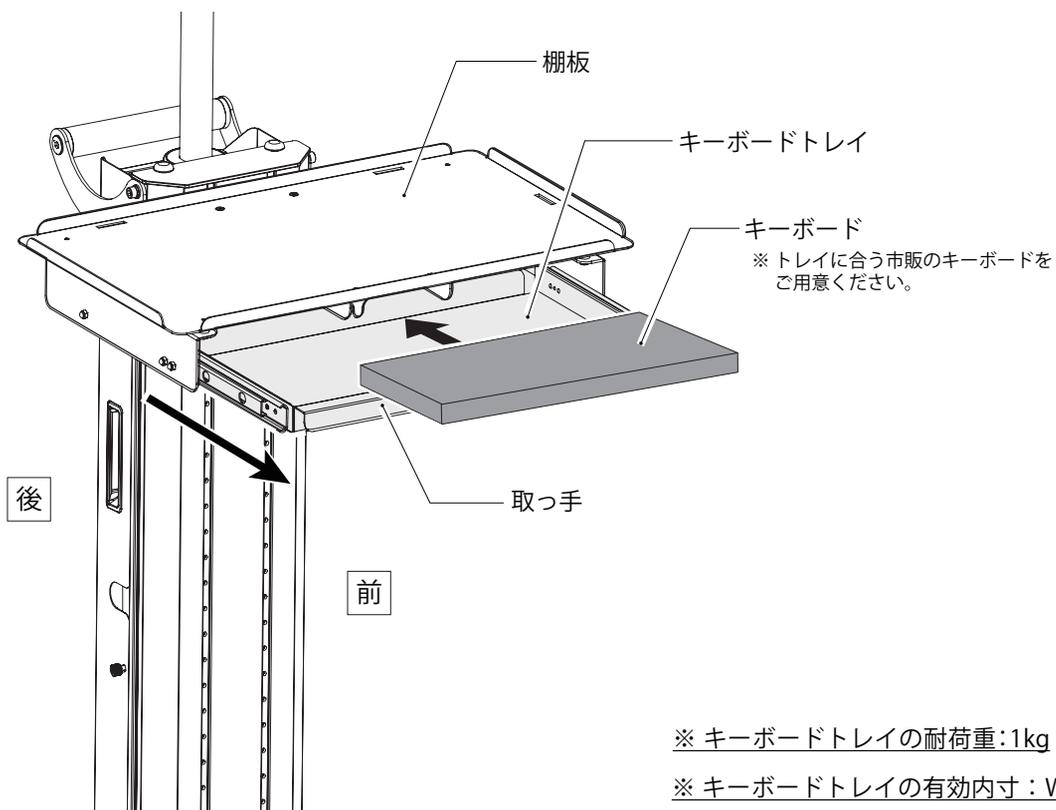


確実にネジを締め付けてください。締め付けがゆるいと棚板が落ちて本製品の破損・けがの原因となります。

キーボードの設置について

オプション

- ・「棚板」の下部にある「キーボードトレイ」を、取っ手を持って引き出し、キーボードをトレイの上に設置してください。



キーボードトレイには、定められた最大搭載荷重以上のものを置いたり、寄りかかったりしないでください。
トレイの破損・けがの原因となります。



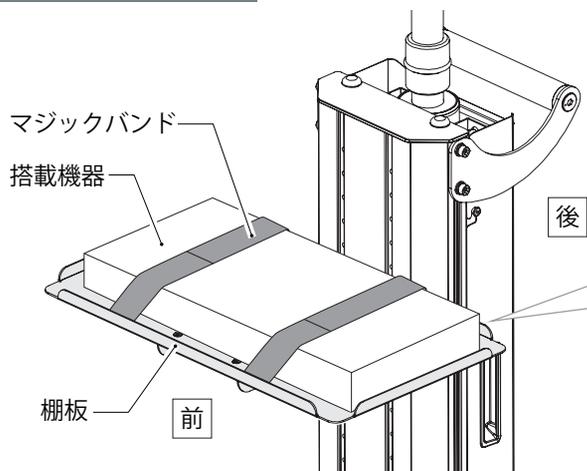
キーボードの使用後や移動の際は、必ずトレイを奥まで収納してください。トレイが突出したままだとぶつかって破損・けがの原因となります。

「棚板 / キーボードトレイ付棚板」の搭載機器の設置

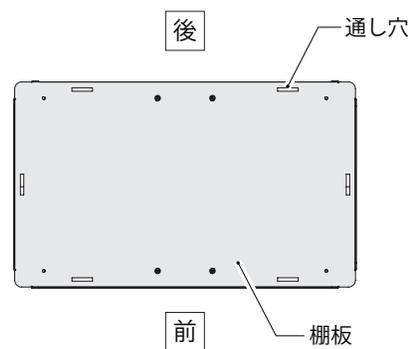
オプション

- ・搭載機器などを設置する際は付属の「マジックバンド」を「棚板 / キーボードトレイ付棚板」上面にある通し穴を使用して、搭載機器などを固定してください。
- ・搭載機器は縦方向、横方向どちらからでも固定可能です。

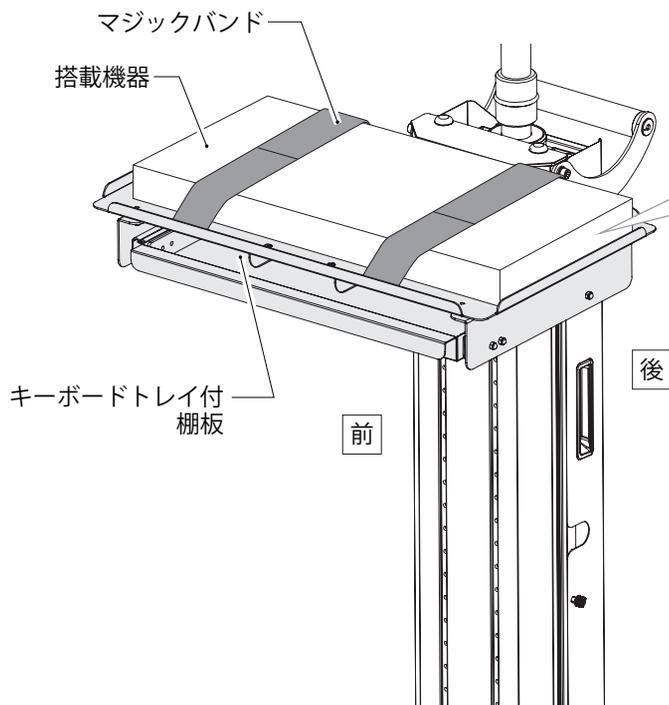
棚板に取り付けた際の図



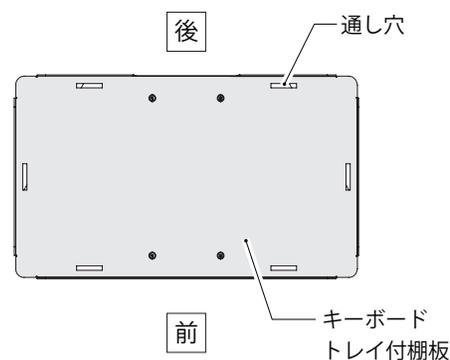
正面から見た図



キーボードトレイ付棚板に取り付けた際の図



正面から見た図



マジックバンドを確実に締め付けてください。緩く取り付けてしまうと機器の落下などによる破損・けがの原因となります。



マジックバンドを取り付ける際は、偏りやねじれがないように注意して取り付けてください。

「バスケット」の高さ調節

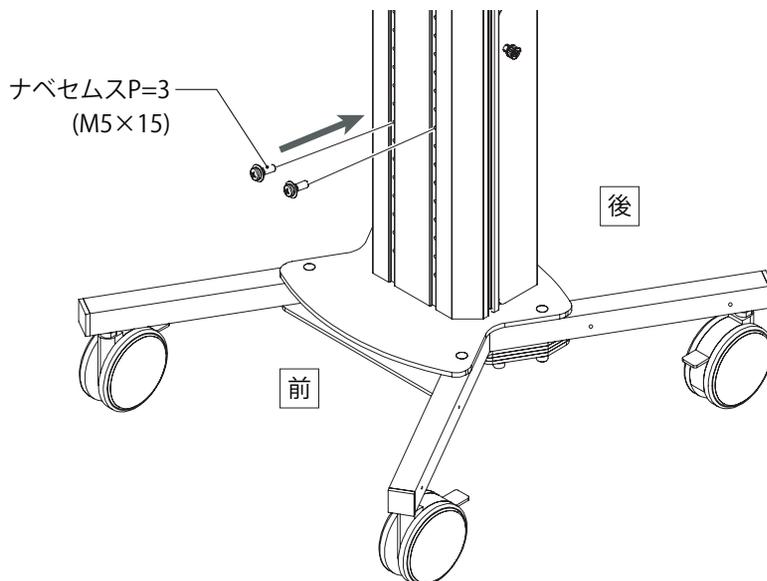
オプション

・「バスケット」の高さを変更したい場合は以下の手順をご参照ください。

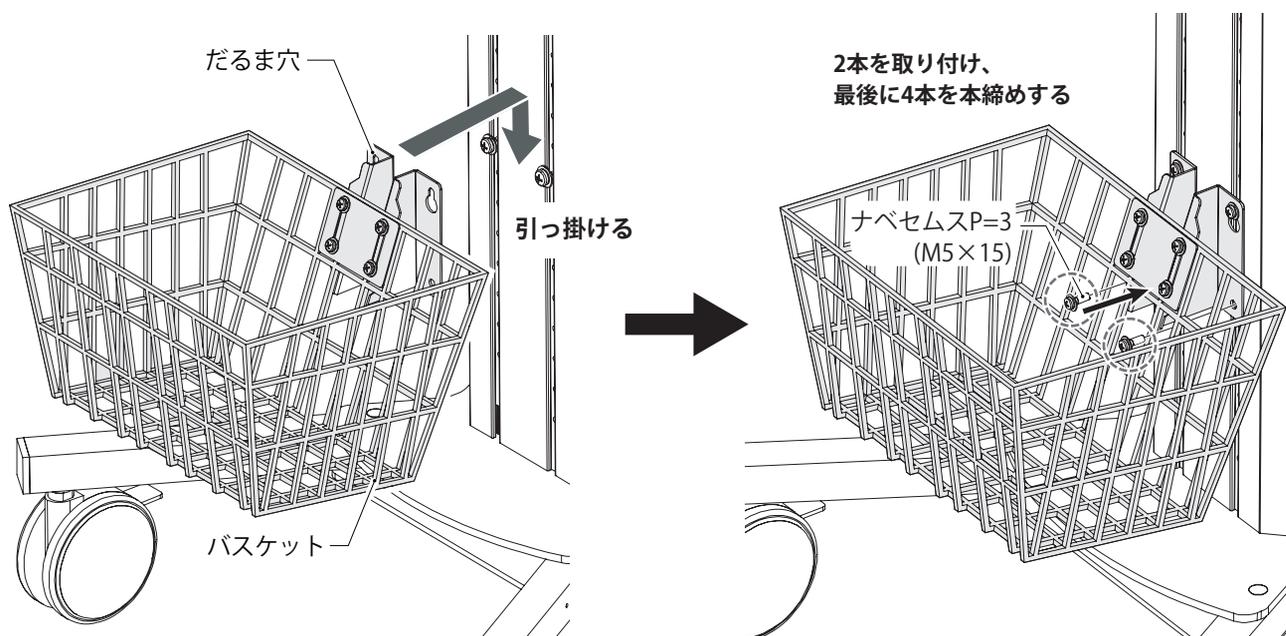
1. 「バスケット」に取り付けられている「ナベセムスP=3(M5×15)」を取り外してください。
2. 「バスケット」の変更したい取り付け位置に合わせて、取り外した「ナベセムスP=3(M5×15)」4本のうち、2本を支柱の正面側に半分程度差し込んでください。

使用する工具

プラスドライバー



3. 取り付けした「ナベセムスP=3(M5×15)」に「バスケット」取付金具のだるま穴を引っ掛けるようにして取り付けてください。
4. 残りの「ナベセムスP=3(M5×15)」2本を取り付け、最後に4本の「ナベセムスP=3(M5×15)」を本締めし、「バスケット」をしっかりと「支柱」に固定してください。



確実にネジを締め付けてください。締め付けがゆるいとバスケットが落ちて本製品の破損・けがの原因となります。

「底板」の位置変更・搭載機器の設置

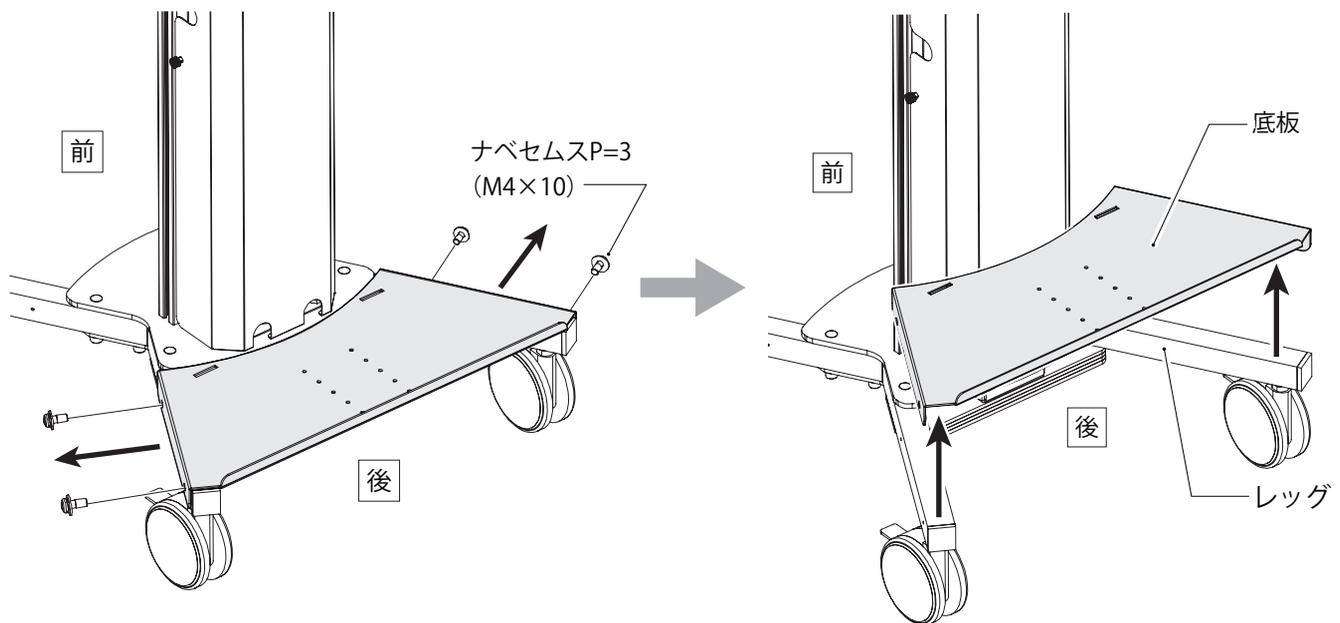
オプション

前面に取り付ける場合の手順

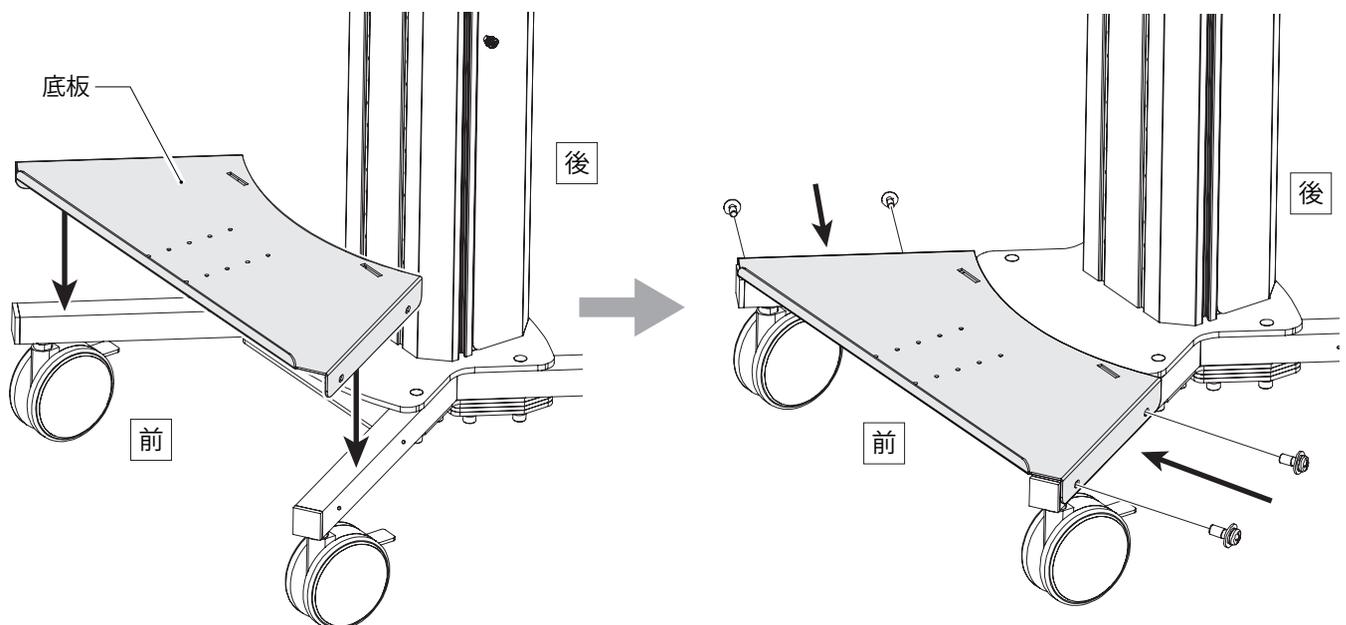
使用する工具

プラスドライバー

1. 最初に背面に取り付けられている「底板」を取り外します。
取り外す際は、取り付けられた「ナベセムスP=3(M4×10)」を外し、底板を持ち上げてください。



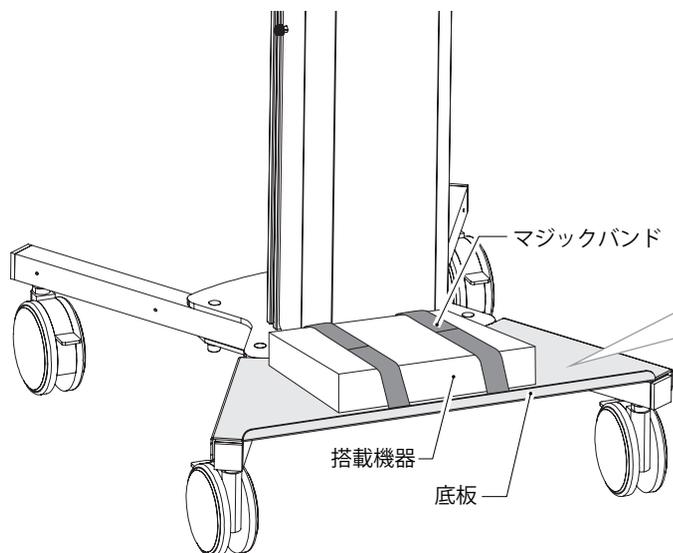
2. 前面側の「レッグ」に「底板」を被せて、「ナベセムスP=3(M5×15)」4本を仮締めしてください。
3. 「ナベセムスP=3(M5×15)」4本全てを本締めしてください。



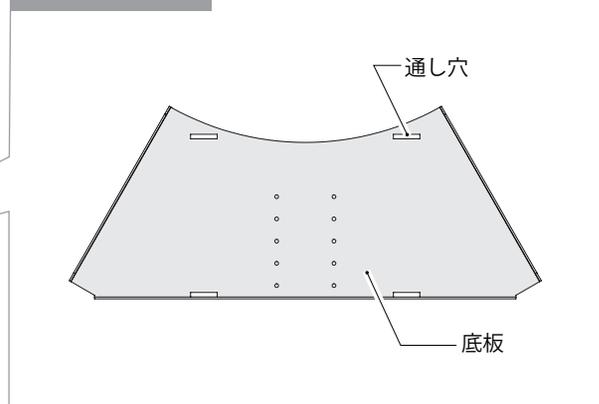
確実にネジを締め付けてください。締め付けがゆるいと底板が落ちて本製品の破損・けがの原因となります。

搭載機器などを設置する場合

- 搭載機器などを設置する際は付属の「マジックバンド」を「底板」上面の通し穴を使って、固定してください。



正面から見た図



底板に設置した機器は、必ずマジックバンドで固定をしてください。固定されていないと落下による機器の破損・けがの原因となります。



搭載する機器は、端に寄せたりせず、できる限り底板の中央部に配置してください。機器の足はみ出さないように注意してください。